

ことばより



目次

巻頭随筆

ことばに力を取り戻すために 梨木香歩 2

国語

特集 新版教科書のご紹介 特色と構成

特色 1 学び方が「しっかりわかる」 4

特色 2 学んだことが「活用できる」 6

特色 3 学ぶことを「楽しめる」 8

構成 1 学ぶことを自覚して取り組む 10

構成 2 「習得」と「活用」の学習を繰り返す 12

書写

教師用指導書付属 DVD-ROM を活用した指導方法 ... 14

資料室 16

教育出版

特集 新版教科書のご紹介 特色と構成

子どもたちに「学ぶ喜び」と、

豊かな「言葉の力」を

国語科にとっての学力向上とは、なによりも「言葉の力」が身につくことです。

そのためには、子どもたちに「言葉を学ぶ喜び」を実感させること。

そして、将来にわたって「学ぶ意欲」をしっかりと根づかせることが大切です。

豊かな言語活動ははぐくむ「言葉の力」は、子どもたちの「生きる力」を支えます。

新版『ひろがる言葉 小学国語』では、子どもたちの「言葉の力」を育てるために、

・学び方が「しっかりわかる」教科書

・学んだことが「活用できる」教科書

・学ぶことを「楽しめる」教科書

を目指しました。



特色 1 学び方が「しっかりわかる」

「なんのために」「何を」「どのように」「学ぶのか」「学習のポイントはどこか」などの学習内容や過程がしっかりとわかるように、明示しました。

主体的な学習のための「学び方モデル」として、定着を図ります。

1 学習の目的

学習のとびら
単元の初めに、「なんのために」「何を」学習するのか、単元の学習内容のイメージをもたせます。

2 どのように

学習過程の明示
子どもたちが、これからどのように学習するのか、今どこを学習しているのか、理解しながら学習していきます。

調べ学習などを見学したときは、ほうこく文にまとめましょう。

阿部さんは、スーパーマーケットを見学したことを、次のようにしてほうこく文にまとめました。

①「見学カード」を作る

調べ学習に行くときは、「見学カード」を持って見学に行きます。見学に行く前に、知りたいことを書いておきます。

阿部さんは、見学に行くスーパーに、いつも買い物に行きますが、店の人は、お客さんが買い物に来る時間以外にどのような仕事をしているのか知りたいので、「見学カード」に書いておきました。

調べたこと	思ったこと
- お客さんがいない。 - 家は、しゃるいべつにならべる。 - 売りの品物に、シール。 - だんは大きな赤い字。	- 朝 だから？ - シールが目だつ。 - あんなにたくさん、あんなにすごい。 - たくさんの方がはらいていて、びっくり。 - レジを打つ仕事のほかにも、いろんな仕事があるんだな。

②「わかったこと」
見学のときは、知ったことをまとめ、わかったことを書く。

阿部さんは、スーパーでは、レジを打つ人以外にも、たくさんの方がはらいていて、いろいろなことを、いちばんつたえたいと思いました。そこで、そのことを中心にほうこく文をまとめました。

買い物をしやすいようにくふうしていることや、買い物をしている人にきいたことなどは、べつつの機会に発表することになりました。

このように、書く内容を一つにしると、まとまりやすくなります。

3 学習のポイント

ここが大事
学習の流れを考えて系統的に整理。

4 留意する点

解説
着眼点や注意するところ。

5 自己評価・相互評価

振り返り
単元の最後に、これまでの学習を振り返り、内容の習熟を図ります。

調べたことをほうこくしよう (3上 p. 50 ~ 57)

③ 調べたことの中からききとって書く

カードを上手に使いましょう。

調べたことをほうこくしよう

④ 読み直す

阿部さんは、学級の友だちのほかに、スーパーのみなさんにも、ほうこく文を読んでもらうことにしました。そこで、下のほうこく文を読み直しました。

ほうこくする内容を、読む人にもつたわるように、書きおわった、次のようなことに気をつけて読み直しましょう。

- 調べたことをまちがいに書いていないか。
- 調べたこと、思ったことを書き分けているか。
- 書き表し方をかえたほうがわかりやすいところはないか。
- 句読点や、段落のはじめ、会話の部分の書き方は正しいか。

「ほうこく」をつたえたいことを、まとめ方をくふうして、書くことができましたか。

⑤ 見学カードをもとに文章を書く

阿部さんは、スーパーでは、レジを打つ人以外にも、たくさんの方がはらいていて、いろいろなことを、いちばんつたえたいと思いました。そこで、そのことを中心にほうこく文をまとめました。

買い物をしやすいようにくふうしていることや、買い物をしている人にきいたことなどは、べつつの機会に発表することになりました。

このように、書く内容を一つにしると、まとまりやすくなります。

スーパーマーケットの仕事見学

今日、社会科の学習でスーパーマーケットを見学しました。この所です。いつもは、見ないの、ほかに入ると、お客さんへていました。ま書いてある、とているたに、魚やいしよに魚を切つものを着て、そのばやく切つていたように、ほうこくを

⑥ 自己評価・相互評価

阿部さんは、学級の友だちのほかに、スーパーのみなさんにも、ほうこく文を読んでもらうことにしました。そこで、下のほうこく文を読み直しました。

ほうこくする内容を、読む人にもつたわるように、書きおわった、次のようなことに気をつけて読み直しましょう。

- 調べたことをまちがいに書いていないか。
- 調べたこと、思ったことを書き分けているか。
- 書き表し方をかえたほうがわかりやすいところはないか。
- 句読点や、段落のはじめ、会話の部分の書き方は正しいか。

「ほうこく」をつたえたいことを、まとめ方をくふうして、書くことができましたか。

● 目的に合わせた、さまざまなメモ例

- ・スピーチメモ
- ・インタビューメモ
- ・聞き取りメモ
- ・構成メモ

● 他の単元や他教科の学習にも活用できるツール群。

- ・原稿用紙の使い方
- ・手紙・はがきの書き方
- ・フランクミリの書き方
- ・電子メールの書き方

ほか

特色2 学んだことが「活用できる」

子どもたちに必要な学習事項を、「繰り返し」、「系統的に」取り上げました。
日常生活に生きる言語活動を網羅し、意図的・有機的に関連させて、「復習」や「応用」学習を図っています。

単元間の系統と関連 (3年の学習を例に)

上巻

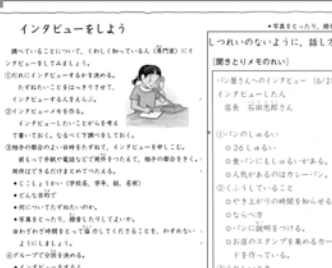
下巻

話す聞く

書くこと

読むこと

インタビューの仕方



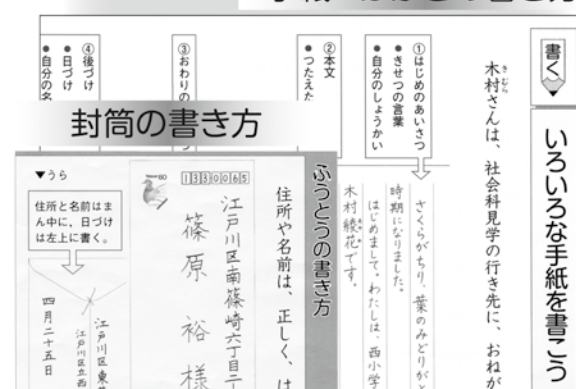
▲『調べたことをほうこくしよう』(3上 p.57)
●聞き取りメモの取り方
●電話のかけ方

インタビューの工夫



▲『方法をえらんでしようかいしよう』(3下 p.77)

手紙・はがきの書き方



▲『いろいろな手紙を書こう』(3上 p.30)
●よこ書き手紙の書き方

取材方法



▲『調べたことをほうこくしよう』(3上 p.52)

報告文の書き方



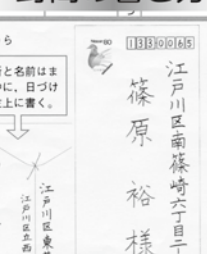
発表原稿の書き方

発表原稿の書き方

発表原稿の書き方

書く

封筒の書き方



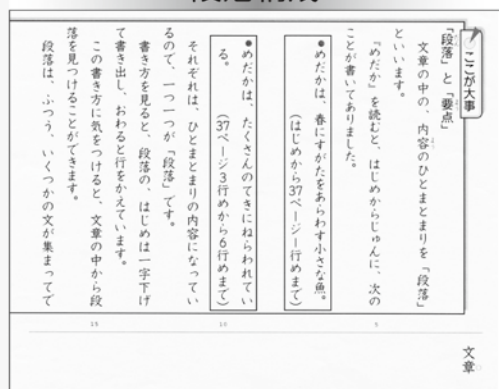
▲『めだか』(3上 p.40)

書き方

書き方

【説明文】

段落構成



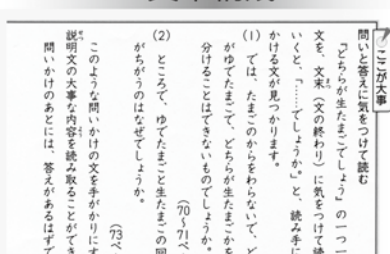
▲『めだか』(3上 p.40)

本の調べ方

読書記録

▲『くらしと絵文字』(3下 p.18)

文章構成



▲『どちらが生たまごでしょう』(3下 p.74)

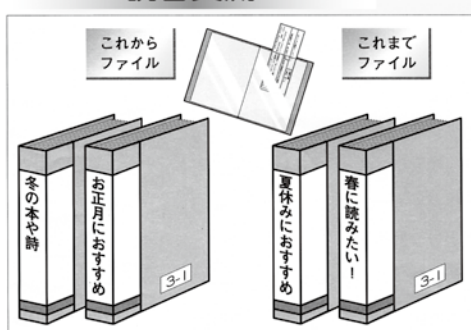
【読書】

本の仕組み(目次・索引)



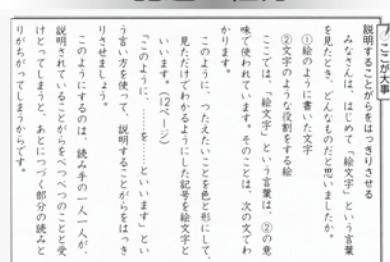
▲『本の仕組みを知ろう』(3上 p.45)

読書交流



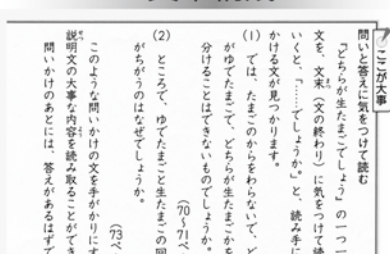
▲『「読書けいじ板」を作ろう』(3下 p.67)

記述の仕方



▲『くらしと絵文字』(3下 p.18)

文章構成



▲『どちらが生たまごでしょう』(3下 p.74)

特色 3 学ぶことを「楽しめる」

「言葉」の発見を楽しむ

まったく新しい「体験型」学習で、言語感覚を養います。
子どもたち自らが、毎日の言語生活を振り返りながら、言葉と向き合い、考える単元です。

2 二人が話しています。

春村さん「消しゴムかして。」
秋山さん「今、使っているから、かせない。」

秋山さんはかしてあげたいけれど、今はかすことができません。どのような言い方をすると、気持ちがつたわるでしょう。

■秋山さんになったつもりで、次のように、表情や話し方の調子をかえて、話してみよう。

・相手と目を合わせて言う。

3 友だちに、楽しかったできごとを話してもらいます。あなたは、次のような聞き方をしてみます。どのような聞き方をしたときが、話しやすかったか、たずねてみましょう。また、それはなぜでしょう。

聞き方1 話し手を見ながら、うなずきながら聞く。
聞き方2 話し手を見ないで聞く。
聞き方3 わざとうなずかないで聞く。

①「その本を取ってちょうだい。」
②「その本を取っていただけませんか。」

けんじ君

すみません

③「心を見せる言葉」(6上 p.78～81)

▲『気持ちをつたえる話し方・聞き方』(3上 p.78～81)

「伝統的な言語文化」に親しむ ― 古典から近代文学まで

日本語のリズムや響きに親しみながら、さまざまな名作を味わいます。

春はあけぼの。
やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、
紫だちたる雲の細くたなびきたる。

春はあけぼのがいい。
だんだんと白くなっていく空の山に近いあたりが、
少し明るくなつて、紫がかつた雲が細く横に長く引いているのがいい。



▲『春はあけぼの』(6上 p.60～65)

▼『「物語」を楽しむ』(5下 p.30～37)

きょうはじめて大きいといわれています。
このころ、読みたい物語などは、人からもらって借りかして読んでいました。さらに、借りたものを書き写すことはありましたが、書き写すときは人間の手で書き写すので、字がまちがえたり、書き直したりすることもありました。そこでも、人々は物語を大事にしています。また、絵が間にあがれた絵本を楽しんでいました。

『竹取物語絵巻』(350年ほど前のもの)

『源氏物語絵巻』(850年ほど前のもの)

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常のひびきあり。
姿羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらはす。
おこれる人も、久しからず。ただ春の夜の夢のごとし。
猛き者も、つひにはほろびぬ。ひとへに風の前のちりに同じ。

「本の世界」を楽しむ

本の世界への入り口を、可能な限り設けました。

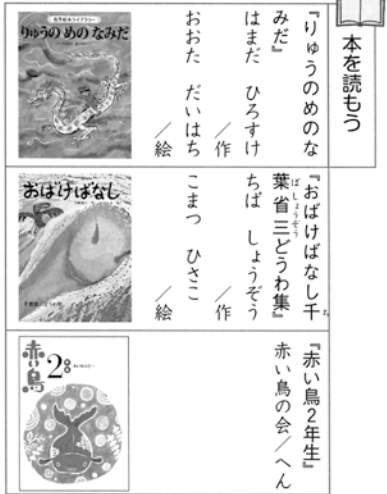
全学年あわせて五二〇冊以上を紹介。

本を読む

「りゅうのめのみだ」はまだ ひろすけ / 作
おた だいはち / 絵

「おばけばなし」葉省三どうわ集 ちば しょうぞう / 作
こまつ ひさし / 絵

「赤い鳥2年生」赤い鳥の会／へん



▲全学年の「学習のてびき」で、関連する図書を紹介。



▲各学年の読書単元で、調べ学習(上巻)と、読書交流(下巻)。

読書 5年生で読みたい本 2

「子どもに贈るアジアの冒険」(2巻) アジアの冒険は、世界最大の大陸。アジアの歴史と文化、自然と風景、人々の生活と文化、アジアの未来と希望。アジアの未来と希望。アジアの未来と希望。

「だまされたツケ」 著者：山崎 隆一 著者：山崎 隆一 著者：山崎 隆一

「白いゆいりゅう」 著者：山崎 隆一 著者：山崎 隆一 著者：山崎 隆一

「三銃士」(コミック) 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子

「西遊記」 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子

「白いゆいりゅう」 著者：山崎 隆一 著者：山崎 隆一 著者：山崎 隆一

「三銃士」(コミック) 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子

「西遊記」 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子 著者：大友 洋子

▲各学年上・下巻末折り返し(両面) その学年で読みたい本をテーマごとに紹介。

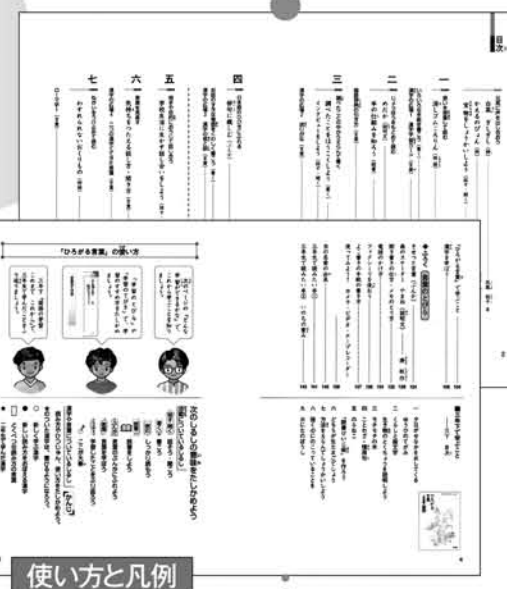
「主体的な学び手」を育てる構成

「ひろがる言葉」
言葉の学習へのいざない。

目次・凡例

「どんな学習ができるかな」
その巻の学習内容を、指導要領の指導事項をふまえて紹介。

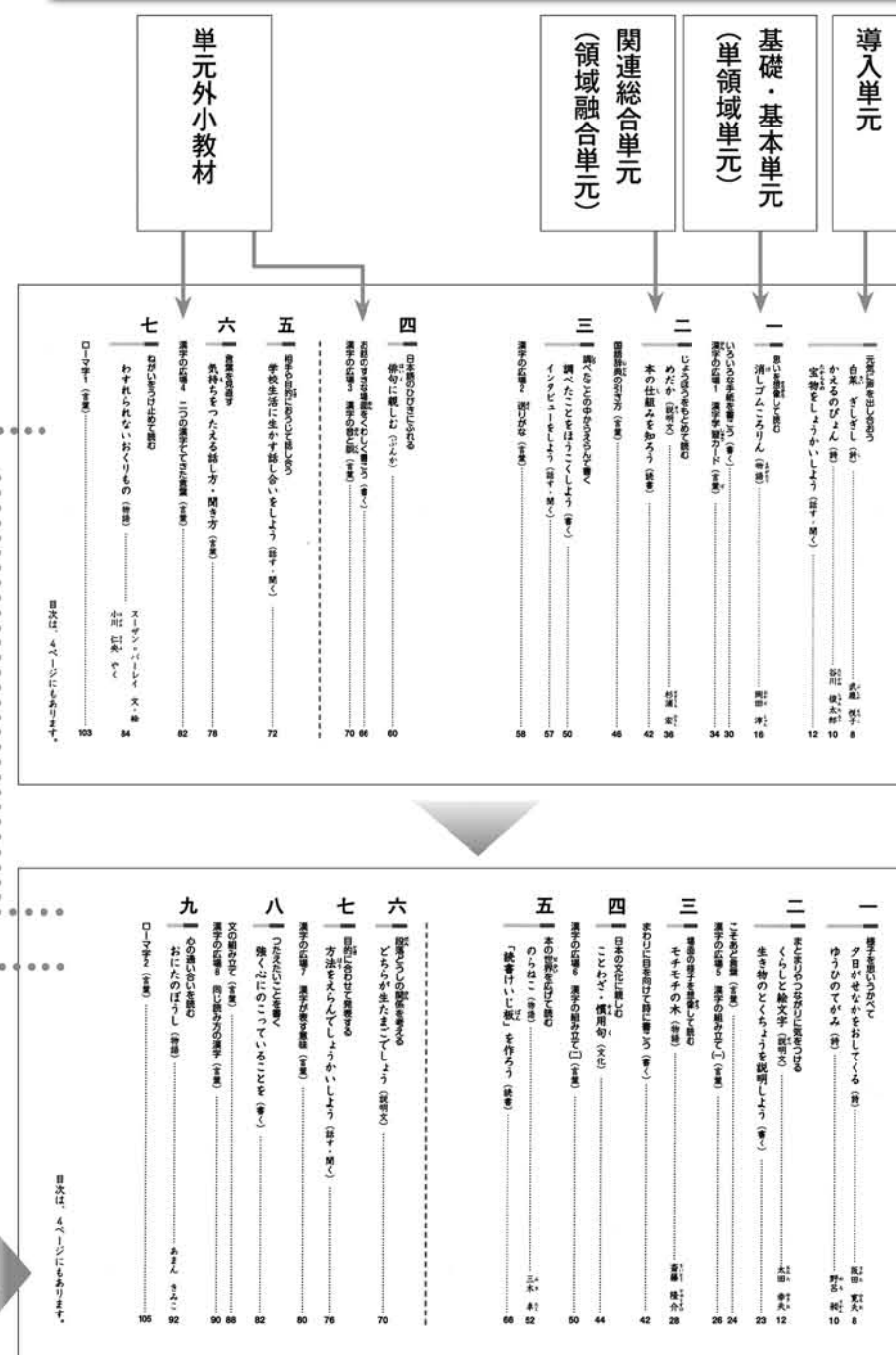
導入部 (学習の見通しをもつ)



上
卷

下
卷

本教材（その学年で学ぶ 内容）



[基礎・基本単元]	各領域の重点的に	習得・習熟を、図るための単元。
[関連総合単元]	領域の学	習を関連させて、
	思考力や	表現力を高める。
	6年生で	は、中学校段階も
	視野に入	れた単元化を図る。

単元の配分

(各卷)

「『ひろがる言葉』で学ぶこと」
その巻で扱う学習用語や学習事項をまとめた索引。

「国語の学習 これまで これから」
二年間の国語学習を振り返り、次の学
年への展望をもつ。

付録「言葉のとびら」
さまざまな学習場面で使える教材群。
本教材の学習をサポート。

学習の振り返りや確認

[illegible]

言葉の
とびら

[illegible]

構成 2 「習得」と「活用」の学習を繰り返す

国語の学力を高める構成

教材どうしを効果的に関連させて「習得」と「活用」をおさえます。

第二単元 第1教材 花を見つける手がかり
第2教材 資料をもとに説明しよう

この単元を構成する領域と教材

この単元で「習得」すること。

二

まとまりやつながりに気をつける

● 段落と段落とのつながりを明らかにして、伝えたことを読み直そう。

● 資料を使って、自分の伝えたいことを整理しよう。

花を見つける手がかり



もしろうちは、日本じゅうどこにでもいる、ありふれた花です。みなさんも知っているように、もしろうちは、花に止まって、そのみつをすいます。いったい、もしろうちは、何をさがり、にして、花を見つけるのでしょうか。花の色で

▲『花を見つける手がかり』(4下p.12～19)

資料をもとに説明しよう

四年一組では、身のまわりの疑問や不思議に思っていることについて調べ、学校のみんなに知ってもらうため、説明文を書くことにしました。

● 課題を決め、資料を集める

高橋さんは、冬になると、水道の水はおおつしまうのに、なぜ、車に使われている水はこもらないのか疑問に思いました。

そこで、いろいろな方法で資料を集め、調べることになりました。

まず、身のまわりでこおりにくい水をさがし、その理由をしようほうカードに書きました。

カードに書くときの注意

● 必要な部分を書きぬいたり、まとめたりする。

● 必要だと思ふ図や絵もかきそえる。

● 資料の名前、ページ数を書く。

● わずかしい言葉は辞典で調べる。

● 新たな疑問や予想について調べる

本などで調べたことが、本当にそうなのか、という疑問がわきました。また、調べたことをもとに「水にとくす物をふやせば、さらにこおりにくくなるのではないか」と、予想もしました。

そこで高橋さんは、実験をしてたしかめてみました。そして、疑問の答えをしようほうカードに書きました。

● 説明文を書く

高橋さんは、しようほうカードをもとにして、疑問を解決の様子が読み手によくわかるように、「疑問① 答え① 疑問② 答え②」の順に、筋道を立てて書くことにしました。

表現の仕方は、「花を見つける手がかり」を参考にしました。

● 疑問① 答え①

疑問② 答え②

疑問③ 答え③

疑問④ 答え④

疑問⑤ 答え⑤

疑問⑥ 答え⑥

疑問⑦ 答え⑦

疑問⑧ 答え⑧

疑問⑨ 答え⑨

疑問⑩ 答え⑩

疑問⑪ 答え⑪

疑問⑫ 答え⑫

疑問⑬ 答え⑬

疑問⑭ 答え⑭

疑問⑮ 答え⑮

疑問⑯ 答え⑯

疑問⑰ 答え⑰

疑問⑱ 答え⑱

疑問⑲ 答え⑲

疑問⑳ 答え⑳

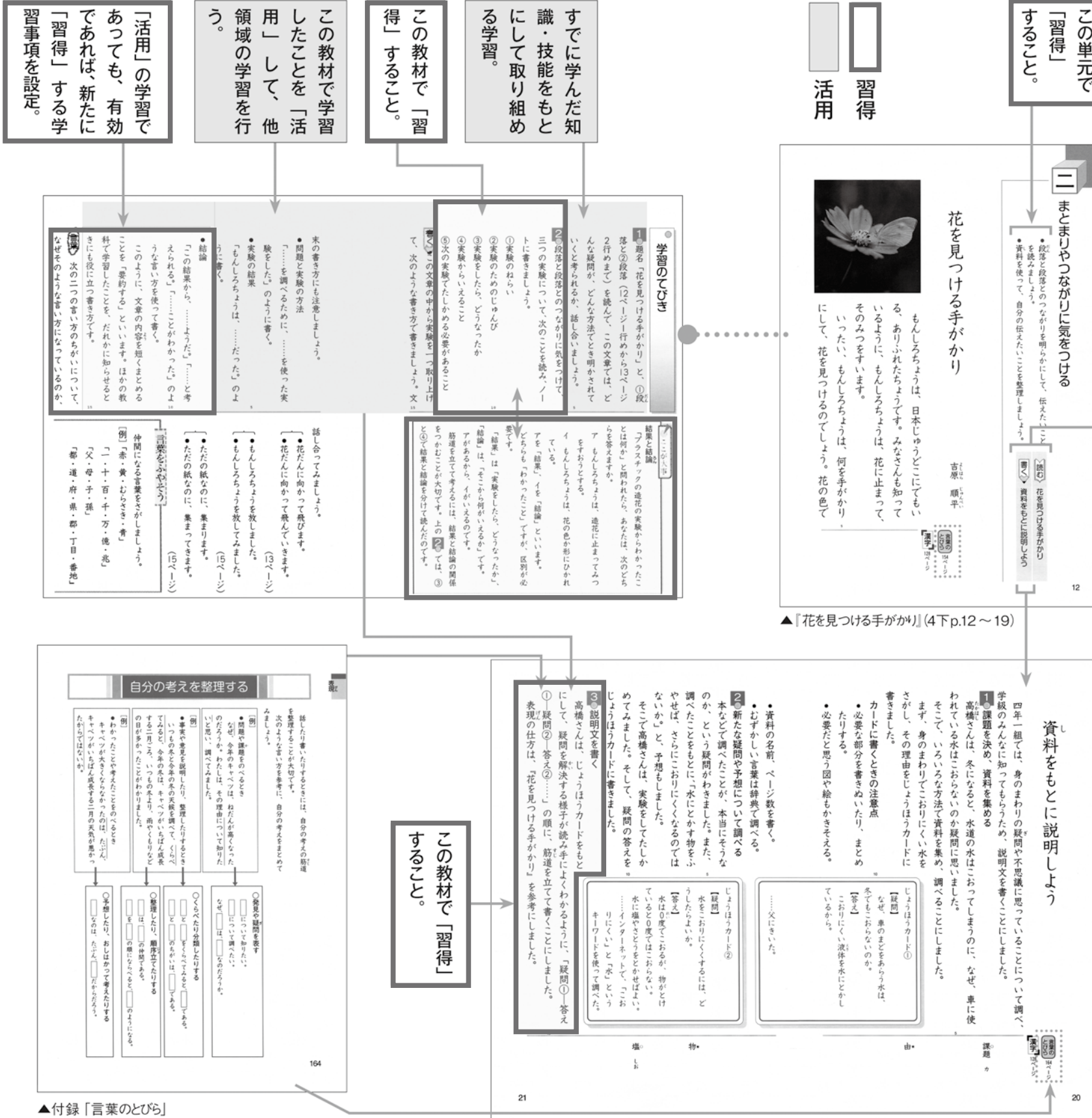
疑問㉑ 答え㉑

疑問㉒ 答え㉒

疑問㉓ 答え㉓

▲付録「言葉のとびら」
『自分の考えを整理する』(4下 p.164)

▲『資料をもとに説明しよう』(4下 p.20～23)



「習得」と「活用」を相乗的に扱って、学習効果を高めます。

付録「言葉のとびら」も「活用」して、学習を深めます。

教師用指導書付属 DVD-ROM を活用した指導方法

——第三学年での活用アイディア——

これからの書写学習では、教室での対話をととして子どもが主体的に考え、相互に学び合う場となるような授業計画がより一層求められています。特に、毛筆入門期にあたる三年生においては、子どもたちも意欲的であり、「毛筆で上手に書けるようになりたい」という思いを強く抱いています。そこで、情報機器を効果的に活用することで、入門期の指導をよりわかりやすく、確かな定着を図っていく指導方法の例を紹介します。

■電子黒板としての機能

平成 23 年度版「小学書写教師用指導書」付属 DVD-ROM 教材には、毛筆指導のための「入門期指導の映像」「運筆動画」「練習用紙」が収録されている。これまでも「運筆動画」「練習用紙」については、パソコン用の CD-ROM に収録されており、それらを活用した実践も定着してきた段階にある。新版の DVD-ROM は、従来どおりのパソコンでの使用はもちろんのこと、「電子黒板」での使用も可能である。スクリーンに教材を大きく映し出せるなど、一斉授業での活用の可能性が広がったといえる。

■毛筆入門期での活用方法

「用具をそろえよう」

- ・電子黒板に「用具をそろえよう」を提示して、それを見ながら児童が一つずつ段階的に準備できるようにして、達成感をもたせるとよい。
- 「筆のおろし方」については、筆の穂をすべておろしてしまい、最初の段階で意欲をなくしてしまう場合もあるので、指導者が個別に支援したい。

「ぼくえきのそそぎ方」

- ・児童は、黙っていると墨液を「うみ」の部分にいっぱい入れてしまうので、提示した例を参考にして「うみ」の部分にゆっくり注ぐことを指導する。「りく」から入れてあふれてしまった場合も視野に入れて注意したい。ここでは、墨液を「うみ」の部分の半分の高さまで注ぐことを理解できるようにする。墨液を扱うこの段階から、あと始末を意識した指導を心掛けていく。

「よいしせいですわろう」「筆を持とう」

- ・「よいしせいですわろう」については、姿勢を正して書くことの意義をあらためて認識し、授業ごとに基準を示して取り組むようにしたい。はじめて扱う「筆の持ち方」については、電子黒板の画面で一斉に見て確かめるとともに、個別に支援していく。そして、普段の自分の姿勢や持ち方をよくしていくことが一番の目標達成であることも認識できるようにしたい。
- ・いずれにおいても、静止画を掲示して教師が説明をしたり、児童に問いかけたりしたりしながら進める方法と、動画を流して一連の動作を見せる方法を、ねらいに合わせて使い分ける必要がある。

■毛筆特有の筆使いを理解する

- ・運筆の動画を見ることで、穂先の動きや向きについて理解を図っていく。特に「は先の動き」に特化した動画は入門期の指導に適している。示範を目的として学級で一斉に見る使い方や、児童個別の練習時間に個々の課題に応じて、好きなスピードで見る使い方もある。



図1 用具をそろえよう

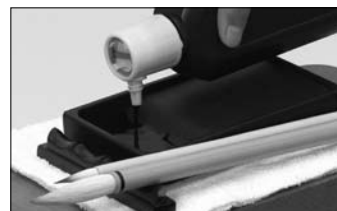


図2 ぼくえきのそそぎ方



図3 よいしせいですわろう



図4 運筆動画

■練習用紙の活用

第3学年の初期の段階では、教材のねらいに合わせて、指導者が練習用紙を選択して使用するとよい。学習が進んできたら、授業の実態に応じて、児童それぞれが課題に合った練習用紙を選択する活動も取り入れたい。

■指導案の例

一 はじめの学習 教科書 P.4～9 4月 2時間扱い (1/2 時間め)

本時の目標 ○よい姿勢のとり方、用具の置き方、正しい筆の持ち方、墨の入れ方などが理解できる。

○用具の準備からあと片づけまで、スムーズにできる。

○筆の持ち方に気をつけて、いろいろな線を書くことができる。

学習活動	DVD-ROMの活用場面
1 目標把握 ●本時の目標を知る。	
2 基準の確認① <----- ●用具の準備をする。 ●「用具をそろえよう」の図に合わせて、正しい用具の置き方を知る。	電子黒板① 「用具をそろえよう」の提示 ・テレビ（電子黒板機能のあるもの）や電子黒板に提示して、児童がどのような準備をすればよいか理解を深める。 ・書写用具の名前を確かめながら、一つ一つの用具を置くように指導する。
3 練習・用具の準備 ●一つ一つの用具を使えるようにしながら、自分の机の上が基準に合っているか知る。 ●筆をおろして書けるようにする。 ●正しい墨液の注ぎ方を知る。<-----	電子黒板② 「ぼくえきのそそぎ方」の提示 ・硯の置き方を確かめる。 ・「うみ」「りく」の用語についても知らせる。 ・墨液のそそぎ方を知らせる。 ・墨液を各自で入れるように指導する。
4 基準の確認② <----- ●姿勢のとり方を基準に合わせる。 ●自分の姿勢とほかの人の姿勢を比べて、よい姿勢のとり方を知る。	
5 練習 ●よい姿勢を保ちながらいろいろな線を書くことを知る。 ●ワークシートに合わせて順番に書くことを理解する。<----- ●どのような線になるか確かめながら書く。	電子黒板③ 「よいしせいですわろう」「筆を持とう」の提示 以下の点に気をつけて視聴するように指導する。 ・筆は親指と人さし指、中指で持つ。 ・筆は右ひじを上げて持つ。 ・左手の置き方を確かめる。 ・両足を床につける。 ・背筋を伸ばす。 ・体と机の間はこぶし一つ分空ける。
6 まとめ・振り返り ●本時の学習を振り返る。 ●姿勢と用具の取扱い方を改めて確かめる。	
7 あと片づけ ●あと片づけの仕方を知る。 ●自分一人で手順よく行うことを確かめる。 ●あと片づけの仕方をまちがわないようにチェック表で確認する。	練習用紙の活用 ・「運筆練習」のシートを活用して、「横線」「縦線」「らせん」の練習を行うよう指導する。

本時の評価 ○よい姿勢のとり方が理解でき、その姿勢でいろいろな線を書くことができたか。

○用具の準備からあと片づけまで、自分の力でやり遂げることができたか。

○筆の持ち方に気をつけて、いろいろな線を書くことができたか。



書写練習帳

各 320 円（本体 305 円＋税）

しよしゃれんしゅうちょう 1 年上
しよしゃれんしゅうちょう 1 年下
しよしゃれんしゅうちょう 2 年上
しよしゃれんしゅうちょう 2 年下
書写練習帳 3 年
書写練習帳 4 年
書写練習帳 5 年
書写練習帳 6 年



小学書写掛図

各 12,600 円（本体 12,000 円＋税）

小学書写掛図 1 年
小学書写掛図 2 年
小学書写掛図 3 年
小学書写掛図 4 年
小学書写掛図 5 年
小学書写掛図 6 年



小学国語掛図

各 21,000 円（本体 20,000 円＋税）

小学国語掛図 ひろがることば 1 年上
小学国語掛図 ひろがることば 1 年中
小学国語掛図 ひろがることば 1 年下
小学国語掛図 ひろがることば 2 年上
小学国語掛図 ひろがることば 2 年下
小学国語掛図 ひろがる言葉 3 年上
小学国語掛図 ひろがる言葉 3 年下

小学国語デジタル教科書

各 63,000 円（本体 60,000 円＋税）



小学国語デジタル教科書 ひろがることば 1 年
小学国語デジタル教科書 ひろがることば 2 年
小学国語デジタル教科書 ひろがる言葉 3 年
小学国語デジタル教科書 ひろがる言葉 4 年
小学国語デジタル教科書 ひろがる言葉 5 年
小学国語デジタル教科書 ひろがる言葉 6 年

＊傍線を引いたり書き込んだりできます。
＊本文に合わせて朗読音声を再生することができます。
＊写真や挿絵はもちろん、指定した部分も拡大することができます。
＊段落番号を振ったり、新出漢字をマーキングしたりできます。
＊別ウィンドウで新出漢字の筆順を確認できます。



なにが、かくれているのでしょうか
だれが、たべたのでしょうか
すみれとあり
さけが大きくなるまで
森のスケーター やまね
アーチ橋の進歩
金子みすゞ やさしさの世界
伊能忠敬
短歌・俳句の世界
落語の世界 ―ざろざろ・寿限無―
漢詩の世界
古典芸能の世界
物語・随筆の世界
近代文学の世界

小学国語 DVD

各 15,750 円（本体 15,000 円＋税）

『ひろがる言葉 小学国語』

総説編 ▼全一冊

○編集の基本方針、各領域の基本方針、表記の原則、年間学習指導計画・評価計画案(全学年)、出典・紹介図書一覧などを掲載。

解説・展開編

▼各学年上下巻各一冊(CD-ROM付)

○単元・教材ごとの教材研究と展開例などを掲載。
○評価問題例、原稿用紙などの資料やツールを、資料編CD-ROMに収録。

ワークシート編

▼各学年上下巻各一冊(CD-ROM付)

○『解説・展開編』に提示している学習指導計画例に対応。
○ワークシートの紙面データをCD-ROMに収録。内容の改変が可能。記入例や記入の観点などのデータも収録。

別冊(朱書編)

▼各学年上下巻各一冊

○教科書の紙面に、指導のポイントや、発問例・板書例、設問の解答例などを掲載。

音声・動画編

▼各学年一冊(CD三枚・DVD一枚・解説書付)

○CDには、読むこと教材や古典教材の授業での範読や、鑑賞に役立つ音読・朗読例や聞き取りテストを収録。
○DVDには、「話すこと・聞くこと」教材や「言葉単元」の学習活動風景を動画で収録。

『小学書写』

学習指導計画・評価規準 ▼全一冊

○年間学習指導計画・評価計画案の一覧表を収録。(全学年)

本冊 ▼各学年一冊

○各教材ごとの教材研究と展開例などを掲載。

別冊(朱書編)

▼各学年一冊

○教科書紙面に、指導事項や学習のポイントを掲載。

ワークシート編

▼各学年一冊

○一枚ずつ切り離し可能なワークシート。(B4サイズ)

CD-ROM/DVD-ROM

▼各学年一枚

○一二年のCD-ROMでは、指導資料、三年以上のDVD-ROMでは、毛筆の運筆動画も収録。

編 集部からのお知らせとお願い

平成 23 年度用『ひろがる言葉 小学国語』教科書につきまして

下記の部分につきまして、訂正のうえご指導くださいますようお願い申し上げます。

学年・巻・教材名	箇所	原文	訂正文
1 上『おおきな かぶ』	P.72 5～6行め	(第(一)場面のあとに、 行のあきがない)	(5行めのあとを1行あ ける)
3 上『いろいろな手紙を 書こう』	P.31 封筒 図 版 内、差出人住所	※ ㄣ 中の部分が「入」 になっている。	※ ㄣ 中の部分を「人」 にする。
3 上『漢字の広場3 漢字の音と訓』	P.71 上段10行め	・ 図る	・ 会う
4 上『月の名前』	P.116 3行め	(下弦の月の説明) 真夜中にしずむとき	昼ごろにしずむとき
6 上『風景 純銀もざい く』	P.9 1行め	(1行めがあいている)	(1行めのあきをつめる)

平成 23 年度用『ひろがる言葉 小学国語』移行措置資料につきまして

平成 23 年度版『ひろがる言葉 小学国語』では、以下の言語教材の指導学年が変更になります。

教材〈指導内容〉	22 年度旧版教科書の扱い	23 年度新版教科書の扱い	対応が必要な学年
送りがなのきまり	6 年生	5 年生	新 6 年生
敬語	6 年生	5 年生	新 6 年生

そのため、新版教科書でご指導いただきますと、23 年度の新 6 年生の児童につきましては、上記 2 教材の指導内容が取り扱われないことになりますので、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

なお、弊社小学国語科ホームページ上、ならびに、教師用指導書『解説・展開編』付録『資料編 CD-ROM 6 上・下』で、上記 2 教材の指導内容に関する抜き刷りと指導資料がご覧いただけます。これらを参考にいただき、指導上のご配慮をお願い申し上げます。

年間学習指導計画に盛りこむ際には、下記のような 6 年生の教材に基づき、内容上の関連をはかりながら学習することができます。

○送りがなのきまり	6 下 P.66『漢字の広場7 漢字の読み方』(2月初旬ごろ／1時間程度)
○敬語	6 上 P.54『敬意を表す言い方』(6月下旬ごろ／2時間程度)

弊社ホームページ <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/index.html>

教育出版編集局



第9回

地球となかよし

メッセージ

作品募集(2011年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、写真(またはイラスト)にメッセージをつけて表現してください。

応募資格

小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)

作品テーマ

- ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み
- ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること
- ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

応募期間

2011年7月1日～9月30日

詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

「ちきゅうも赤ちゃんもだいじ」



8月9日に、わたしのいもうとがうまれました。

赤ちゃんは、まだおしゃべりできないし、あるけないから、パパやママがおむつをかえたり、だっこをしてくれています。わたしやおとうとがだっこをしようとこつとわります。

わたしたちがすんでいるちきゅうも、やさしくだっこしてあげるとわらってくれるかな?

2010
入選作品

◎主催／教育出版 ◎協賛／日本環境教育学会

◎後援／環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞

*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。



教育出版

「地球となかよし」事務局

TEL 03-3238-6982 FAX 03-3238-6975

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10

小学国語通信 ことばだより (2011年 春号)

2011年3月31日 発行

編集：教育出版株式会社編集局

印刷：大日本印刷株式会社

発行：教育出版株式会社 代表者：小林一光

発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)

URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

これは、わたしたちの活動理念を表したシンボルマークです。

なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命のびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003	札幌市中央区北3条西3丁目1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011	函館市本町6-7 函館第一生命ビルディング3F TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014	仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
中部支社	〒460-0011	名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
関西支社	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051	広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
四国支社	〒790-0004	松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
九州支社	〒810-0001	福岡市中央区天神2-8-49 ヒューリック福岡ビル 8F TEL: 092-781-2861 FAX: 092-781-2863
沖縄営業所	〒901-0155	那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411